

# 「イクケン香川」子育てカレッジ

## 乳幼児のパパ・ママ学科 Dコース



乳幼児のパパ・ママ 27名、託児(6か月～未就学児) 14名

日時●9月25日(日)13:30～15:30

会場●ひまわりセンター(丸亀市大手町)

プログラム 13:35～14:55 講演会

15:00～15:30 ワークショップ

身近な子育て支援を知って、「子育てつながり・つながるシート」を作成。

### 【講演】働く夫婦の家事・育児シェア実例

瀬戸内海放送 山下洋平さん 同アナウンサー 田嶋万友香さん

(山下) お皿一枚洗わず、休日返上で働き続けていましたが、子どもが増えて、妻が職場復帰するたびに、家事をするようになりました。洗濯や食器洗いなど、おもに「洗う」ことを担当しています。始めた頃は、水切りカゴがいっぱいだ、食器をどこにしまったらいいのかわからず、思考ストップ！な状態でしたが、今では収納場所はもちろん、洗剤の在庫状況まで把握しています。妻は私に任せたことは、細かい口出しをしません。私が忘れてると、「〇〇しなさい」ではなく、「〇〇しようか～」と誰にともなく声をかけています。担当者意識が育っている私は、すぐに反応して〇〇しているという具合ですね(笑)。

できるだけ19時半までに帰宅して、子どもとお風呂に入るようにしています。仕事を立て込んでいるときは、そのあとで再度職場に戻ることもあります。子どもがいる生活は、仕事時間への制約がありますが、子どもは本当にかわいくて、幸せをかみしめていますね。妻のことは、仕事が早くて、いい仕事をしているので、尊敬しています。さらにキャリアを積んでほしいですね。



【講師紹介】 夫はニュース・ドキュメンタリーの制作者、妻は取材や番組制作にも携わるアナウンサー。子育て支援メニューをフル活用して、マスコミ業界での仕事と、3人の子育てを両立する夫婦。



夫と同じ職場ですし、視聴者にも配慮して、旧姓のまま仕事を続けています。

(田嶋) 結婚することで、私自身が成長しました。親と子どもは選べませんが、夫は唯一自分で選べる家族です。間違ってたかと思っっています。職場復帰した今は、子育て支援メニューをフル活用していますね。たとえば、ファミサポやベビーシッター、病気の時は病児保育など。赤ちゃんの時から同じ人に預かってもらうようにしているので、子どもがよくなっています。子育ては得難い経験ですが、育児休暇や時短勤務が職場の査定に響いていて、今のところ昇進もありません。そこで、国際女性ビジネス会議の司会をしたり、男女共同参画審議委員をしたりして、私の社外価値を高めていこうと努力しています。

## ワークショップ：身近な子育て支援を知って、「子育てつながり・つながるシート」作成

妊娠・出産・産後の支援	いろいろな子育てのサポート	子どもの保育	
		行政などの支援情報	
子どもの健康や発達	みんなで子育て 子育てつながり・つながるシート	子どもの教育	
子育ての仲間づくり	父親の家事・育児	母親の仕事・再就職	相談しようと思ったら
職場の子育て支援			



参加者は、4グループに分かれて、シートの空白を埋めていきました。



A グループ



C グループ



B グループ



D グループ

出産前後の支援や子どもの保育、職場の子育て支援などに何があるのか？知っていることを教え合いました。市町によって違いがあることや、知らない支援がまだまだあることに気づいて、自分たちの子育てに役立つ情報を得られたようです。育休中で職場復帰を控えた方は、「復帰後の生活をイメージすることができ、すぐに支援が受けられるように、さっそく登録に行きたい」と言っていました。

### 参加者アンケートより

- いろんなサポートがあるので、私も困ったら使いたいと思いました。(30代女性)
- ゲストのお二人のお話がとっても良かったです。(30代男性)
- 夫への家事の頼み方が参考になりました。(40代女性)
- 家事育児シェアの実例を聞いて、自分の家庭だとどういう風に生かせるかなと考えました。(30代女性)
- 共働きになってから、夫の気持ちが理解できてなかったことに気が付きました。きちんと話をしてコミュニケーションをとりたいと思います。(30代女性)
- 新しい情報が得られて良かったです。職場復帰したときの参考になりました。(30代女性)
- (ワークショップで) いろんな方と話せて良かったです。(30代女性)
- 夫婦として尊敬しあえるよう、帰って、がんばってみようと思った。(50代女性)
- 協力的な旦那様って、本当にいらっしゃるのだと知って、目からウロコでした。仕事で疲れて帰って来て、あれだけできるのはすごいこと。理解があるからですね。目標にしたいと思います。(30代女性)
- 夫婦で尊敬しあえるのがステキだと思った。改めて子育てのサポートがこんなにあると知った。(20代女性)
- 子育て支援として、行政、民間、コミュニティ、施設、インターネット、電話、いろいろな媒体があることを知った。(30代男性)
- 自分の知らない多くの支援があることが勉強になった。(30代男性)
- ママの不満を多く聞いた。楽しかった。パパが家事・育児をすることのハードルの低さを、もっとアピールしてもらえたら。(30代男性)
- お互いをリスペクトしている、とっても仲の良い関係をうらやましく思った。コミュニケーションを密にして、夫婦がお互いに仕事も家事も楽しみながら取り組めるように、家に帰って話してみたいです。(30代女性)